



舟遊の風景

役場派と非役場派

どちらが確實か

審議會では十六名の結束を唱へ反對派は八名位と見る

請求町會以来の町議間に於ける

動搖を起してゐることは既報の如く青沼氏一派に於ける町理事者組織の革新的な舉が當局をして相當の恐れを懐かしむるものありたるを同時に一面にはまた役場

に對する同情を誘ふものありて民政黨の萩原義雄氏及び政友會の井上茂作氏兩派の提携を主力とする町政審議會なるものが急然たる勢ひを以て組織されるに至つた

同派現在の結束を役場派の見込む所では

萩原義雄、吉村安次郎、吉田五平、吉田寅之助、荒川茂次郎、荒川恒次郎、井上茂作、佐々木龍若、千葉彦治、國府田直良、石山治三郎、花澤五五、鈴木光吉、齋藤敏實、櫻井清、猪狩庄平、坂本隆藏氏等

屈指され北海道に於ける東北消防組頭大會より歸る井上茂作氏の着平を待つて遅くも来る廿五日頃までに發會式を舉行の模様である

連名必すしも同登携に確實なる諒解あるや否やは未だ疑問であり一方青沼派の觀測では猪狩庄平氏の牛耳も中正會では去廿日坂本隆藏氏邸の會合に於て審議會の加入勧誘を

謝絶することにした

井上一派でも全部の参加困難の模様であるから審議會は結局八名位の結束に止むるものであらうと見られてゐる

石城鮫川の舟遊

地元が外來 歡迎に奮發

石城郡植田町の鮫川景勝勝場會では同地遊覽者に物質を離れて便宜を興へてゐるが今夏季には外來歡迎に更に一段の努力を注ぐ筈で目下諸般の準備中である大體に於ける遊覽のプログラムは國道鮫川橋下から川舟に乘じて岩間海岸の川口まで

仲裁者も組合側の要

求を過大と見てるらし

平町魚市場對鮮魚商組合抗兩間の握手を説いたが組合の仲裁は既報の如く廿二側が依然その要求を譲らざり正午本縣商工課長並に縣議鈴木辰三郎氏の勞により右に對して市場側の語を勸めたが組合側の左記要

求が

過大と見なされ途に

野上課長も手をひいたので

其後四丁目和泉屋旅館に移る夜の十二時に及ぶ調停もまた纏るに至らず廿三日は午前八時から魚市場樓上に

仲裁者 である各漁業

組合長並に支部長等熱心に

直接有効の實力涵養

佑賢學舎に於ける農蠶教育

平町の舊城跡城址に於ける

約十町の緩急を案內者の漁

網と附近の風光に與じつ

川を下つて川口に至れば波

打際に地曳を下して獲たる

席の料理で舌鼓を打ちなが

ら陶然たらんとするところ

あつて夜景にはまた別種の

趣きがある舟は十人乃至二

十人乗で一人一圓以上の散

財をかけたせぬと云ふ方針

野上課長手をひく

妥協困難の模様

仲裁者も組合側の要

求を過大と見てるらし

平町魚市場對鮮魚商組合抗

争の仲裁は既報の如く廿二側

日正午本縣商工課長並に縣

任吉屋本店に兩者會見妥協

を勸めたが組合側の左記要

求が

過大と見なされ途に

野上課長も手をひいたので

其後四丁目和泉屋旅館に移

る夜の十二時に及ぶ調停も

また纏るに至らず廿三日は

午前八時から魚市場樓上に

仲裁者 である各漁業

一般相場の平均より一割高の公正額

片倉製絲が組合産繭五萬貫の引受に對し

平町片倉製絲工場によつて

組織される養蠶組合の産繭

五萬貫の中既に搬入された

の四萬貫に達し残るものは

は澤渡、川前、上入遠野及

び双葉の一部で計當り二圓

の内金を渡してゐる公正取

引は全部の搬入を終了する

本月末に行はれるもの、如

くであるが右に就て立野所

長は語

受け入れた繭に就ては最

も公平に撰別から形状並

して確かに有利であると

暗に咲く花の飾窓

絶對に罷りならぬ

暮にならぬ大いぼし

平町に於ける暗の盛り場と

ウエートレスが四十五名

して有名な南町から稍明る

酌師が三百五十、藝妓百六

みを添へるカフェーに新田

十名合計五百五十五人に上

の花柳街、紅燈も白燈もつ

つてゐる其約半数は平町の

ない五十歩百歩の働きて甘

占むる所十四軒の洋食屋

い男を誘つてゐるのだが斯

湖の盜難

現金五十八圓

平町の新田町藝妓屋湖月事

に於て湖の盜難が起つた

は澤渡、川前、上入遠野及

び双葉の一部で計當り二圓

の内金を渡してゐる公正取

引は全部の搬入を終了する

本月末に行はれるもの、如

くであるが右に就て立野所

長は語

受け入れた繭に就ては最

も公平に撰別から形状並

して確かに有利であると

暗に咲く花の飾窓

絶對に罷りならぬ

暮にならぬ大いぼし

平町に於ける暗の盛り場と

ウエートレスが四十五名

して有名な南町から稍明る

酌師が三百五十、藝妓百六

みを添へるカフェーに新田

十名合計五百五十五人に上

の花柳街、紅燈も白燈もつ

つてゐる其約半数は平町の

ない五十歩百歩の働きて甘

占むる所十四軒の洋食屋

い男を誘つてゐるのだが斯

た女群の数は半響管内飲食

店に八十名の酌師、後爲の

改革概論(七)

大内 民 惠

第三章 教育分區主義

國民學校

十三、教員は之を國民學

校教父と稱し生徒は之

を國民學校學兒と稱す教

父母は終身官にして現制

の文武官と同格の待遇を

うくるものとす

人間の犯罪を裁き人間の行

ものであると思ふのである

十四、教員は終生同一教

育区内に勤務するが本則

とす、但し受持學級卒業

したる時に於て學校に都

合により轉任を命ずること

あるべし

初任の地それが墳墓の地と

云ふ覺悟がなければ教育の

徹底を期することは出来な

いと思ふのである

十五、教員及其家族には

一定の期間内、一定の回

数を限り、場合によりて

は臨時)全國內の流車流

船の無賃乗券(各等隨意)

給付す

十四條の規定に對しても當

然かくあるべきことであり

右本社に採用編輯並に業方面に従事致させます
野 口 明
昭和五年六月廿三日
新新聞社

平町四丁目 ツルヤ



平町四丁目 電話一四〇

初夏の御用意は ツルヤ


新緑の初夏が訪れました
帽子、シャツ、ネクタイ
靴下、パラソル、日傘等
実用品や高級品の数々が
豊富に陳列されました
旅行や外出時の装身具
軽快なステッキまで
宵の散歩にはゼヒツルヤへ

金屋 金屋 金屋

良品の廉價は 金屋 金屋 金屋

平町三丁目 電話十九番

のきあひお様皆
アイスクリン、レツキ、ソウダ水、20粒
カフエターラヒ
番〇二六話電・前驛平



看護婦
平看護婦會
電話三〇七番

安價に 迅速に 町噂に 親切に

遠藤活版所
電話七四三番

愛國産
時計は信用ある精工舎製品を

特約店 **大谷時計病院**
平町三丁目 電話十九番



モリタヤ
電 353 番

夏帽子の専門店

- 一文字帽子
- バナマ帽子
- 麦帽子
- ピツケ帽子
- オーガンデ

「その他」
実用品や流行品を種々豊富に取揃へました

内外科、小児科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
院長 醫學士 高久 忠

平町・電話五一三番

恐怖時代の
動脈硬化症 新薬
豫防及治療

アイヨ一錠
試用二圓
中瓶六圓
大瓶廿圓

特約店 **山野邊藥局**
平町五丁目

特種流經劑



平町三丁目 宇佐美藥局
電話一六六番

スペイン G.H.N 元 話
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
¥ 1.10

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(電話) 西村屋藥舖 (三番)

御料理 面白く お安く

尼忠
平新田町 電話八六五番



豆と晒あん

● 北海道のよいお豆
● 純小豆製の上い晒あん

お電話なり下さらば多少に拘らずお届申上げます。

田巻隆一商店
平町三丁目 電話九〇八

表代城磐 酒銘

合 味 美 味 經 濟
油 醬 山 崎 合 名 會 社

電話十番

夏物御案内

僅かの水で非常によく冷える丸ほん冷蔵器
夏の衛生に必要なる 蠅帳、食卓覆、鉢すたれ、鉢蓋
真夏にも涼味 たつぷりな 藤製家具類
可愛いお子様の 小兒車各種
運動と健康に 籐屏風、蓑蓑、硝子盆
夏の御座敷には ウチワ、障子掛、蚊帳釣手
其の他各種

岩谷冷蔵器 代理店 **丸ほん**
平町三丁目 電話三五九番